ホットなサービスをお届けする
OKB 大垣共立銀行

２０２４年３月２９日
午前１０時３０分

大 垣 共 立 為 替 相 場 速 報

１．昨日の海外市場と今朝の東京市場の相場動向

	ＵＳドル／円	ユーロ／円	ユーロ／ドル
昨日の東京市場 17:00	１５１．４４－４６	１６３．６０	１．０８０２
昨日の海外市場レンジ	１５１．１５－１５１．５０	１６３．１４－１６４．５４	１．０７７５－１．０８１９
本日の東京市場 9:00	１５１．４１－４３	１６３．４０	１．０７９１

【主な材料】
（海外）米　新規失業保険申請件数(前週比)2,100 千人(前回 2,120 千人)
10－12 月期 GDP　1.6%(前回 1.6%)
ミシガン大学消費者マインド 79.4(前回 76.5)

【コメント】
昨日の東京時間は、本邦当局による為替介入の警戒感から、ドル／円は 151 円台前半を横這いで推移した。
海外時間に入ると、上記米経済指標が公表され、総じて市場予想よりも堅調な内容が確認された。しかし、上記ミシガン大学消費者マインド指標のうち、期待インフレ率が市場予想よりも下振れる内容となりインフレ抑制の可能性が確認されたものの、ドル／円への影響は限定的となった。よって、ドル／円は 151 円台前半を小幅な揉み合いに終始してこの日の取引を終えた。

２．本日の東京市場から海外市場にかけてのＵＳドル／円予想レンジ

本日の予想レンジ（単位：円）	１５１．００－１５２．００

【主な材料】
（海外）米　債券・株式市場休場
2 月 PCE コア価格指数
欧州　市場休場

【コメント】
本日は、上記米経済指標に注目したい。足元ではインフレ鈍化が見られているが、米雇用は力強い環境が継続している中、賃金インフレなどが十分に抑制されているとは考え難いことを踏まえると、当該指標も市場予想程度の鈍化に留まると考える。よって、結果的に市場の反応は限定的となるだろう。
また、本日は米国の債券・株式市場及び欧州圏の市場が休場のため市場参加者が少なく取引が手控えられることから、特段ヘッドラインなどが無い限り相場は動意薄の展開になると予想される。
以上より、ドル／円は高値圏で小幅に揉み合う展開を予想する。(SA)。

このレポートは、外国為替相場に関する情報の提供を目的としたものです。また、このレポートの予測はあくまで参考に記載させて頂いているものです。従いまして、本レポート記載内容および予測結果に対しましては、当社は一切責任を負うものではありません。このレポートのいかなる部分も一切の権利は大垣共立銀行に帰属しており、無断での複製・転載を行わないようにお願いいたします。また、本レポートの内容に基づいて当社がお客様に何らかの勧誘を行うこともありません。